新春のごあいさつ

食と農の創造を通じて人と人がつながる地域社会をつくる

～自己改革に不断に挑戦しつづけるために～

代表理事組合長
髙橋　勉

あけましておめでとうございます。

組合員や利用者、そのご家族の皆様方に、謹んで新春のご挨拶を申しあげます。

さて、今年は「子年」です。ネズミは多産であることから、子宝に恵まれ「子孫繁栄」が期待される年と言われています。少子化により日本の人口は減少していますが、「子年」にあやかり人口が増加に転じるよう希望するところです。人は新たな年を迎えると、物事が好転することに期待したり願いを込めたりします。日本経済の発展や農業生産拡大など地域振興も含めて諸々の願をかけてみようではありませんか。

そして、今年は「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。日本人選手の活躍と、世界中から観光客が訪れることによる大きな経済効果に期待をするところです。表彰式の際にはメダルとともに、岩手県産のリンドウをはじめ多くの花が贈られると耳にしています。当ＪＡの花や岩手県の花を全国にＰＲできることは、生産者のみならず岩手県民の誇りでもあり、花栽培の振興がますます期待されます。

そのような中で、昨年頻発した台風は甚大な土砂災害に留まらず、農畜産業にも多大な損害をもたらしました。また、海水温の上昇は漁業にも大きな影響を及ぼしています。その対策を講じるべく、県・国会議員を通じ支援を要請しています。加えて、去る1月1日に発効された日米貿易協定により米国の農畜産物が大量に輸入されれば、その影響は大きく、食料の安全保障と持続可能な農業を目指している「食料・農業・農村基本計画」に大きな懸念が生じます。ＪＡグループとして農業振興を国に要請しながら、食料自給率の向上や農家組合員の所得増大に努めてまいります。

さて、今年は第４次中期経営計画・営農振興計画の中間年度を迎えます。基本目標の一つである「農家組合員の所得増大と農業生産の拡大」に向け更なる活動が求められています。持続可能な農業を実践するために、地域事情に則した品目の生産振興と営農指導体制の再編で、目標の達成に全力で取り組みます。

取り組みの一環として、ＪＡ管内の水田農業の効率的な生産基盤の充実を図るために設立された、１００を超える農業生産法人などに向けて、「いわて型野菜トップモデル産地創造事業」を利用したピーマン・タマネギ栽培などによる園芸振興を引き続き提案していきます。また、法人などから要望があった労働力確保対策として、昨年から開所している無料職業紹介所「アグリワーク」の対象地域をＪＡ管内全域に展開するよう進めています。さらに、花き部会と一緒になった花栽培は女性や高齢者の労働力を活用できますので、今後の発展が期待される分野です。

ＪＡ経営の柱の一つである信用事業は、マイナス金利が大きく影響し、収益構造が激変しています。組合員主体の協同組合運動の展開と、安定した経営基盤確立強化との狭間で、今般実施する支店や営農施設の再編について、組合員から貴重なご意見やご提言を賜りました。運営にあたっては職員を効果的・効率的に配置し、「出向く活動」の強化・充実を図るほか、移動金融店舗車も導入・運行しますので、よろしくお願い申しあげます。

４万人あまりの組合員がいる中で、正組合員がかろうじて半数以上を占めておりますが、准組合員が増加傾向にあります。また、集落営農組織や農業生産法人の設立により組合員やその生活の多様化が進み、ＪＡへの結集力が年々弱まっています。一方で、農家組合は農協運動の一番の基礎組織であり、農業や地域づくりを通じて、地域コミュニティの活性化に貢献する重要な組織です。農家組合の活動支援はもちろんのこと、「支店行動計画」の策定と実践、「農業まつり」や「ふれあいプラン」などの開催とともに、女性部の力を生かしたくらしの活動や、最も期待される青年部の活動などの支援をしながら、組織の活性化と結集力の向上に邁進します。

組合員や利用者の皆様方のご多幸とご健勝をお祈りしますとともに、更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお願い申しあげます

会長理事	阿部　勝昭
代表理事組合長	髙橋　勉
代表理事副組合長	島津　秀三郎
代表理事専務	伊藤　清孝
常務理事（金融・共済担当）	長原　典夫
常務理事（営農・健康福祉担当）	佐藤　力夫
理事	新田　実
理事	熊谷　克正
理事	藤舘　政義
理事	菊池　正明
理事	髙橋　光司
理事	菅原　一雄
理事	髙橋　弘
理事	菊池　正志
理事	小田島　友衛
理事	加藤　勝信
理事	菅原　一彦
理事	髙橋　洋志
理事	八重樫　京子
理事	玉山　孝光
理事	菊池　春夫
理事	吉田　正志
理事	菊池　範子
理事	安藤　勝隆
理事	石川　清正
理事	本舘　博子
理事	髙橋　テツ
理事	太田代　良市
理事	佐々木　重吾
理事	菅野　寛
理事	藤本　一廣
理事	松田　富雄
理事	川﨑　勇一
理事	小森田　裕之
理事	佐々木　久雄
理事	鎌田　春夫
代表監事	佐々木　幸雄
常勤監事	三浦　正寿
監事	髙橋　清純
監事	久保　公正
監事	照井　重光
員外監事	柳谷　敬志
職員一同	

子の張り子

今月号の表紙を飾っているのは、「子の張り子」です。豊かな文化を育み、古くからの伝統を守り伝えている「小田島民芸所」の職人が、和紙を使い一つひとつ手作業で丁寧につくりあげています。

十二支は、遠い昔から人間社会に欠かす事の出来ない神様です。人の運勢を12種類の干支にに託して時を刻み、福運を運んでくれるありがたい神として私たちには縁の深い結び付きがあります。新年を迎える準備として、その年の守り神である干支の人形を飾る事で、１年間家を守ってくれると言われています。

■小田島民芸所　花巻市材木町10-20

ぽらーの花巻　CONTENTS

◉No.263／令和２年(2020)１月号

02　新春のごあいさつ
04　特集　ＪＡ県下統一誌面　農業×スポーツ
08　ぽらーのNEWS ◉地域の話題
10　あぐりネット
13　かがやく女性部／未来を拓く協同組合
14　Information ◉理事会だより／監事会だより
16　私が先生あなたも先生　◉編集後記